

# 『災害時のトイレ・し尿処理研修会』

## 一避難所トイレ運営の向上一

### <開催要領>

- 内 容 災害時の避難所トイレ運営・し尿等の衛生管理の講演会
- 日 時 平成**28**年**11**月**16**日（**水曜日**）受付開始12時30分  
研修会 13時30分～17時00分
- 場 所 **静岡市清水文化会館「マリナート」小ホール**（定員280名）  
〒424-0823 静岡市清水区島崎町 214 TEL：054-353-8885
- 主 催 静岡県環境整備事業協同組合  
〒420-0044 静岡市葵区西門町 3番8号 ダイセイヨウビル 402号室  
TEL：054-251-8776 FAX：054-251-8801  
E-mail：seikankyou@mtg.biglobe.ne.jp
- 後援(予定) 内閣府政策統括官（防災担当）  
静岡県 静岡県市長会 静岡県町村会  
全国環境整備事業協同組合連合会
- 協 力 特定非営利活動法人日本トイレ研究所  
〒105-0004 東京都港区新橋 5-5-1 IMCビル新橋 9F  
TEL：03-6809-1308 FAX：03-6809-1412  
URL <http://www.toilet.or.jp>
- 参加予定者 静岡県及び県内35市町のし尿処理・下水処理・防災・医療健康の行政  
担当者様 静岡県及び県内35市町の議会議員様 自主防災関係者様  
し尿収集運搬等の業界関係者
- 参加費 無 料

## 『災害時のトイレ・し尿処理研修会』 —避難所トイレ運営の向上—

### <開催趣旨>

未だ、世界人口の3分の1以上にあたる25億人がトイレを使えず、劣悪な衛生状態により多くの人命が失われていることから、国連では、トイレ環境の向上とし尿の衛生的処理のため、2013年7月の国連総会で11月19日を「世界トイレの日」と定めた。

日本には世界の人々が羨むほどのトイレ環境やし尿処理システムが整備されており、日常生活では快適にトイレを使うことができる。しかし、阪神・淡路大震災や東日本大震災、今年4月に発生した熊本地震においても、下水インフラの被害によって、長期にわたり水洗トイレが使えない状況から、被災者の生活に重大な影響を及ぼした。被災地避難所でのトイレ不足や不衛生なトイレ環境は、被災者の健康を害し、震災関連死を引き起こす、命にかかわる問題となっている。

当組合は一昨年より、11月19日の世界トイレの日に合わせ、静岡県内の県・市町から行政・議会またし尿収集業者などの出席を得て、『災害時のトイレ・し尿処理研修会』を開催している。平成26年の研修会では、「東日本大震災に学ぶトイレ問題、下水・し尿処理の課題」をテーマに、昨年は、「トイレ対策とし尿の適正な処理」をテーマとして開催した。昨年の研修会では、避難所におけるトイレの設置・運営の責任者・司令塔が必要であることなどを学ぶことができた。

今年3月に改正された静岡県災害廃棄物処理計画では「災害時の仮設トイレ対応マニュアル」の見直しをなされ、「特に避難所における仮設トイレは、司令塔機能を確保するため、設置から維持管理までを担当する責任者を決めて対応する。」とされた。災害時におけるトイレ問題は大規模災害発生の都度、課題となってきたが、災害廃棄物としてのし尿処理においては、事前のトイレ計画、避難所のトイレ運営、衛生や感染症対策、し尿の適正処理までを体系的に把握し管理することの重要性から処理計画に盛り込まれたものと言える。

避難所でのトイレ対策は、一般的に、食料などの物資の対策などに比較し知識やノウハウが不足している。本研修会では、内閣府が策定した避難所でのトイレ運営・管理マニュアルや感染制御などについて学び、避難所トイレ環境の向上及び関係者が連携したし尿の適正処理並びに関係する計画の策定や見直しに資する研修会とする。

## < プログラム >

### 『災害時のトイレ・し尿処理研修会』

#### — 避難所トイレ運営の向上 —

- 12時30分 受付開始
- 13時30分 開会
- 13時30分 主催者挨拶
- 13時35分 来賓挨拶 静岡県くらし・環境部長 高木 利夫 様
- 13時40分～14時30分 講演①
- 演 題(仮)災害時の避難所運営・トイレ管理
- 講 師 内閣府 避難所のトイレの確保・管理ガイドライン策定会議 座長  
新潟大学 危機管理本部 危機管理室  
教 授 田村 圭子 様
- <休憩10分間>
- 14時40分～15時30分 講演②
- 演 題(仮)災害時のトイレ環境と感染症対策
- 講 師 東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 感染制御学  
教 授 菅原 えりさ 様
- 15時30分～16時10分 講演③
- 演 題 熊本地震等に学ぶ今後のトイレ対策
- 講 師 特定非営利活動法人日本トイレ研究所代表理事 加藤 篤 様
- 16時10分～16時50分 質疑・まとめ  
講師と会場参加者との情報交換
- 16時55分 閉会

## 講師プロフィール

### 新潟大学危機管理本部危機管理室 教授 田村 圭子 様

2004年3月京都大学大学院情報学研究科博士後期課程単位取得、2004年4月京都大学防災研究所研究員、2005年3月博士（情報学）（京都大学）取得、2006年4月新潟大学災害復興科学センター准教授、2009年4月より新潟大学危機管理室・災害復興科学センター教授。専門は危機管理・災害福祉。復興推進委員会委員、国土審議会委員、内閣府「避難所の確保と質の向上に関する検討会（H27）」「熊本地震を踏まえた応急対策・生活支援策検討WG」委員、新潟県「防災会議」委員等、多くの国、地方自治体の委員を務めている。

### 東京医療保健大学大学院医療保健学研究科 教授 菅原 えりさ 様

感染制御学博士。感染管理認定看護師（日本看護協会）。前職日本赤十字社医療センター。2001年に感染管理認定看護師の資格取得、看護師長として院内の感染制御を専従で担当し、病院感染リスクのモニタリングやその低減活動を行ってきた。災害救護では、2004年の新潟中越地震と2011年の東日本大震災時に日赤救護班として出動経験を持つ。特に、3.11の震災救援では、石巻赤十字病院を拠点とした「石巻圏合同救護班」の一員として避難所の衛生管理支援を含む感染制御活動に従事した。2016年4月より現職。

### 特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤 様

まちづくりのシンクタンクを経て、現在、特定非営利活動法人日本トイレ研究所代表理事。災害時のトイレ調査や防災トイレワークショップの実施、防災トイレ計画の作成、小学校のトイレ空間改善を展開。「災害時トイレ衛生管理講習会」を開催し、防災トイレアドバイザーの育成に取り組んでいる。内閣府「避難所の確保と質の向上に関する検討会 質の向上ワーキンググループ委員」。『四快の進め（共著）』（新曜社）、『元気のしるし朝うんち（共著）』（少年写真新聞社）、『水の知（共著）』（化学同人）等。

## 会場案内図（静岡市清水文化会館マリナート）



### ○電車の場合

- JR 清水駅 みなと口（東口）下車、徒歩3分（清水駅自由通路直結）  
（JR 東海道線 静岡駅—清水駅間・約11分）
- 静岡鉄道 新清水駅下車、徒歩10分  
（静岡鉄道静岡清水線 新静岡駅—新清水駅間・約20分）

### ○お車の場合

- 東名高速道路清水ICより自動車約10分
- \*会場には、駐車場はございません。
- 隣接の清水駅東口駐車場、日の出パーキング等、周辺の駐車場をご利用ください。